

2025年度 山形県看護研究学会 実施要綱

公益社団法人山形県看護協会

2025年3月作成

目 次

山形県看護研究学会開催要領	1
開催までの流れ	1
演題応募・通知・参加申込みに関するお問合せ先	1
山形県看護研究学会で発表する（演題募集要領について）	2
山形県看護研究学会へ参加する（参加申込みについて）	3
抄録原稿見本	4
演題申込書（様式7-1）	5
研究における倫理的配慮とその記述方法	6

参考資料

山形県看護研究学会抄録選考基準	9
山形県看護研究学会規則	10

開催要領

【目的】

看護職は看護研究を通して、看護の専門的知識・技術の創造と開発に努めることが必要である。山形県看護研究学会は、保健・医療・福祉・教育の現場における実践の看護研究を推進し、看護職の資質の向上を図り、県民の健康と福祉の向上に寄与する。

【時期】

11月

【会場】

山形県看護協会会館・看護研修センター

【主催】

公益社団法人山形県看護協会

開催までの流れ

演題発表者

1. 発表希望者は各年度の演題募集受付期間に申込みを行う
2. 学会委員会で応募演題の選考が行われ、応募者に抄録選考結果が通知される
3. 採用者は集録原稿を期日までに送付する
4. 各施設に学会の開催案内が届いたら、manaableから参加申込みと参加費の支払いを行う
5. 発表の詳細（発表プログラム・会場・打合せ時間等）について文書が届く
6. 学会抄録が届く
7. 研究学会での発表

参加希望者

1. 各施設へ山形県看護研究学会の開催案内が届く
2. 参加希望者は、manaableから参加申込みと参加費の支払いを行う
3. 学会抄録が届く
4. 研究学会への参加

演題応募・通知・参加申込みに関するお問合せ先

公益社団法人山形県看護協会 山形県看護研究学会委員会事務局
〒990-2473 山形市松栄1-5-45
Tel023-685-8033 Fax023-646-8868
E-Mail : gakkai @nurse-yamagata.or.jp

山形県看護研究学会で発表する（演題募集要領について）

1. 演題応募資格
研究者に都道府県看護協会会員・日本精神科看護協会会員が1名含まれること
2. 応募期間 2025年5月15日（木）～6月30日（月）必着
3. 研究内容 看護に関するもので未発表（施設発表を除く）のもの
4. 発表形式 口演発表 1演題につき発表7分、質疑応答3分
※2025年度山形県看護研究学会は口演のみの募集といたします。
5. 応募書類
 - 1) 2025山形県看護研究学会演題申込書（様式7-1）※5ページ参照
当協会ホームページより様式をダウンロードしてご使用ください。
 - 2) 抄録原稿 ※4ページ参照
6. 応募方法 上記5の応募書類を電子メールにて、下記へお送りください。
公益社団法人山形県看護協会 山形県看護研究学会委員会事務局宛て
E-mail : gakkai@nurse-yamagata.or.jp
7. 選考方法 山形県看護研究学会委員会による抄録の査読審査にて採否を決定し、選考結果を所属長及び筆頭研究者へ文書通知いたします。
8. 抄録原稿作成方法について
 - 1) 事前に9ページの山形県看護研究学会抄録選考基準をよく読んで抄録を作成ください
 - 2) 抄録原稿枚数 A4用紙 1ページ とする（厳守）
 - 3) モノクロで作成する
 - 4) 原稿は下記の条件で書式設定を行い作成する ※抄録原稿（4ページ「抄録原稿見本」参照）
 - (1) 本文 2段組み。上下左右の余白は20mm
 - (2) 書体 MS明朝体（全角）、英文およびアラビア数字は半角
 - (3) 文字サイズ 表題12ポイント太字、本文10ポイント
 - (4) キーワード 内容を表す重要な語句を3～4個記載する
 - (5) 所属施設名 法人名も略さず正式名称を記載する。部署名は入れない
 - (6) 氏名 発表者名のみ記載 ※共同研究者名は「抄録集」にのみ掲載いたします
 - (7) 本文の構成は、原則として次の通りとする
【はじめに】【目的】【方法】【結果】【考察】【結論／おわりに】
 - (8) 図表の挿入は自由だが、白黒で製本時に判別できる明瞭なものであること
※タイトルは図表共に上部、図表番号は、表は上部、図は下部に明記する
 - (9) 倫理的配慮について 山形県看護研究学会演題申込書（様式7-1）に記載すること
※6～8ページの「研究における倫理的配慮とその記述方法」を必ず一読ください
 - (10) 利益相反について 山形県看護研究学会演題申込書（様式7-1）に明記すること
 - (11) 引用文献について ハーバード方式（著者名と出版年）で表記し、引用文献リストは不要とする ※記載例）〇〇と報告されている（山形, 2025）
 - (12) 個人情報の取扱いについて
演題及び参加のお申し込み等により登録・提出いただいた個人情報は、2025山形県看護研究学会の準備・運営目的以外には使用いたしません。必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理いたします。
9. 口演発表者の申込方法
 - 1) 発表者も学会申し込みが必要です。manaable よりお申し込みください
 - 2) 一度入金された参加費は返金できません

山形県看護研究学会へ参加する（参加申込みについて）

1. 都道府県看護協会員・非会員、日本精神科看護協会員・非会員、看護学生が参加できます。
2. 参加費について
都道府県看護協会員及び日本精神科看護協会員：3,000円
非会員：5,000円
学生：1,000円
3. 参加申込方法
当会ホームページ上、manaableよりお申込みください。
4. 参加証明書について
manaableシステムよりダウンロードができます。



manaable

抄録原稿見本(原稿はA4サイズ 1 枚)

20mm

表 題 (12 ポイント・太字・MS 明朝)
 ー副題ー (12 ポイント ない場合は行削除)
 キーワード：患者、看護師、意識 (3～4つ 10 ポイント)
 (1 行あける)
 公益社団法人山形県看護協会 ○発表者名のみ記載 (10 ポイント右寄せ、施設名は正式名称)

(1行あける)

20mm

【はじめに】
 (研究の動機や背景、文献検討の結果、研究の意義を記述)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【目的】
 (この研究により何を明らかにするのかを記述)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【方法】
 (研究の期間、調査方法等を記述)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

1. ○○○○○○○○
2. ○○○○○○○○

【結果】
 (研究により得られた結果を記述)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

表1 タイトル(表上・左寄せ)

--

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【考察】
 (得られた結果を先行研究の結果や既存の理論等と比較し考察を論述)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

20mm

【結論／おわりに】
 (得られた結果と考察をもとに、何が明らかになったのか簡潔に論述)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

20mm

<様式7-1>

2025年度 山形県看護研究学会演題申込書

— 演 題 名 —	
(ふりがな)	
発 表 者 氏 名	山形県看護協会または日本精神科看護協会 会員番号:
共同研究者氏名	会員番号:
共同研究者氏名	会員番号:
共同研究者氏名	会員番号:
共同研究者氏名	会員番号:
共同研究者氏名	会員番号:
共同研究者氏名	会員番号:
【倫理的配慮について】 <input type="checkbox"/> 院内外の倫理委員会等の承認を受けている	
【利益相反について】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (有りの場合、該当項目と企業名などを記載)	

2025年 月 日

(ふりがな)

筆頭研究者氏名

所属施設名

通知文書送付先

- 自宅
 所属施設

部署名()

〒

TEL

FAX

E-mail

※【抄録作成・研究発表・論文作成の際に必ずお読みください!!】

研究における倫理的配慮とその記述方法

1. 先行文献を調べて活用していますか？

すでに研究結果が出ているテーマを繰り返して研究することは倫理的に問題があると考えられます。そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「背景・目的」、考察で適切に引用しましょう。

「日本看護協会ホームページ>キャリアース」には文献データベース「最新看護索引 Web」があり、『日本看護学会論文集』（第42回より）全文PDFも公開されています。ぜひ活用してください。

2. 研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮していますか？

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞（当院・当病棟も含む）・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。

3. 研究対象者の個人情報を守っていますか？

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、不必要な個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関与しない個人情報は記載しません。個人情報の取扱いは、個人情報保護法「看護研究における倫理指針」（日本看護協会 2004 年）、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」（個人情報保護委員会・厚生労働省 2017 年）、「看護者の倫理綱領」（日本看護協会 2003 年）、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省、2017 年一部改正）および所属施設の規定に従ってください。

4. 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載していますか？

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表について同意を得たことを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば入院患者に対し無記名で看護ケアの質評価の依頼をしても、自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいので、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業中に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行うことは、自由意思を損なうことにつながりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合には、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理審査委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

看護師へのインタビューを行う研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得る必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得られない場合には、家族もしくは病院の倫理審査委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも、可能なかぎり研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理審査委員会等での同意が必要となります。

5. 倫理委員会での承認を受けたことを記載していますか？

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理審査委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究対象施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理審査委員会等で承認を受けていることを明記してください。

倫理的配慮について

- 1) 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年3月23日制定)」(以下「指針」という。)を熟読し、指針の「人を対象とした研究」に該当する研究は倫理審査を受けていること。
 - ・所属施設に倫理審査委員会がない場合は、相当する機関(※)等による組織的承認を得ていること。
※相当する機関とは、都道府県看護協会や大学等他組織の倫理審査委員会及び所属施設内において研究の実施にあたり倫理的観点から審査・承認を行う会議体を指す
- 2) 指針で適用範囲外とされている研究については倫理審査は不要であるが、個人情報保護やインフォームドコンセント等の必要な倫理的配慮については、抄録本文内に記載すること。
 - ・倫理審査の適用範囲については指針および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」(令和3年4月16日制定)を参照し、倫理審査を必要とするかどうか判断が困難な場合には、倫理審査委員会の意見を聴くことを推奨する。

倫理審査委員会の表記については、研究フィールドや対象者の特定を避けるため正式名称を記載せず「A大学(病院)倫理審査委員会」などと表記する。

また、所属施設に正規の倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関^{*}で承認を得た場合は、「倫理審査委員会相当の期間から承認を得た」ことを記載のうえ、「対象者から自由意思による承諾を得た」こと、「不利益を回避するための配慮を実施した」ことを明記してください。

研究の実施だけでなく、結果の公表(発表)に関しても、研究対象者および研究対象施設の承諾が必要です。

※倫理審査委員会に相当する機関とは、幹部会議、看護部、委員会等の会議・会合などのことを言います。その場合には、複数の第三者による組織的理解を得ていることを明記してください。

【倫理的配慮の記載方法】

山形県看護研究学会演題申込書	様式7-1に倫理委員会等の承認を受けたことを明記する
抄録原稿	抄録原稿への記載は不要とする
学会での発表媒体	スライド(ppt/pptx)内に承認・承諾を得たことを明記する

6. 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載していますか？

倫理審査委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対策(中止基準の設定等)、研究データの取扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

7. 著作権等の侵害がないように配慮していますか？

文献から本文を引用する場合は、出典(文献)を明記します。図・表は転載許諾を得た上で出典(文献)を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典(文献)を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、()内に商品名と登録商標の場合は®を記載してください。

8. 利益相反の有無について明記していますか？

利益相反とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益(得られる成果を社会へ還元する)と私的利益(個人が取得する金銭、地位、利権など)が研究者個人の中に生じる状態のことを指します。看護研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。しかし、そのような経済的な利益関係などにより

研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料（発表資料、抄録、論文等）に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

【利益相反の記載方法】

山形県看護研究学会演題申込書	様式7-1に利益相反状態を開示する
抄録原稿	抄録原稿への記載は不要とする
学会での発表媒体	スライド（ppt/pptx）内に利益相反状態を開示する

【記載例】

＜利益相反がある場合＞ 「本演題発表に関連して、過去1年間に△△社から研究者所属の看護部への委託研究費・奨学寄付金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。」

＜利益相反がない場合＞ 発表媒体のスライド1枚目最下段に「本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。」等、記載

（2024年度日本看護協会HP「研究における倫理的配慮とその記述方法」より一部抜粋）

山形県看護研究学会抄録選考基準

項目	内 容	
発表意義	1	看護実践に意味ある事実や知見があるか
表題	1	内容を適切に表現しているか
目的	1	この研究により何を明らかにしようとしているかが明確か
	2	研究の意義が明確か
方法	1	対象は適切か
	2	データ収集方法および手順を示しているか
	3	研究方法は、研究目的達成のため妥当か
	4	分析方法は妥当か
	5	既存の尺度を使用する場合、開発者の使用承諾を得るかまたは出典を明示しているか
倫理的配慮 (様式7-1)	1	対象者（または代諾者）から研究並びに発表の承諾は得られたか
	2	個人が特定されないようにしているか
	3	対象者の不利益が生じないようにしているか
利益相反 (様式7-1)	1	利益相反の有無について明記しているか
結果	1	研究目的にそった結果を示しているか
	2	事実を客観的に示しているか
	3	図表の表現・体裁は適切であるか
	4	方法と結果の整合性があるか
考察	1	得られた結果に基づいた解釈をしているか
	2	研究目的にそった考察で一貫性があるか
	3	この研究で言える範囲内の考察になっているか
結論/ おわりに	1	目的と一致しているか
	2	得られた結果に基づいた結論になっているか
その他	1	用語の定義は適切か
	2	抄録原稿は見本の様式に従って作成しているか
	3	文献を正しく引用しているか

※所属施設に倫理委員会が設置されている場合は、その承諾を受けていること。

山形県看護研究学会規則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、山形県看護研究学会と称する。

(組織)

第2条 本学会は、公益社団法人山形県看護協会(以下、「本会」という)定款第3条(目的)に基づき山形県看護協会と日本精神科看護協会山形支部と共に実施する。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本学会は、山形県内のすべての看護職の実践に根ざした学術研究の活動を通して看護の質の向上を図り、人々の健康と福祉に貢献することを目的とする。

(事業)

第4条 本学会は、前条の目的を遂行するために次の事業を行う。

- (1) 山形県看護研究学会の開催
- (2) 山形県看護研究学会研究抄録の発行
- (3) その他本学会の目的達成に必要な事業

(看護学会会長)

第5条 山形県看護研究学会会長は、山形県看護協会会長をもってあてる。

第3章 学会委員会

(学会委員会)

第6条 本会の山形県看護研究学会として学会委員会を置く。

第7条 学会委員は、山形県看護協会会長が選任した山形県看護協会会員をもって構成される。

第8条 学会委員会は、次の事項を日本精神科看護協会山形支部担当者と共に審議する。

- (1) 山形県看護研究学会の企画・運営及び評価
- (2) 山形県看護研究学会の投稿演題(抄録)の選考
- (3) 看護研究学会抄録を作成する。
- (4) その他、本学会に関する必要な事項

第4章 山形県看護研究学会

(開催)

第9条 本学会は、毎年1回開催する。

(応募資格)

第10条 演題応募資格は、演題応募者に都道府県看護協会会員、日本精神科看護協会会員が含まれること。

2. 看護職以外で共同研究を行った非会員は、投稿原稿に共同研究者として記名できる。

(演題応募手続き及び参加手続き)

第11条 当該年度の看護研究学会に演題応募をする者及び参加を希望する者は、所定の手続きにより、本学会事務局に申し込まなければならない。

(参加資格)

第12条 都道府県看護協会会員・非会員、日本精神科看護協会会員・非会員、看護学生であり、所定の参加申込み手続き後、参加費を納入した者は参加できる。

(参加費)

第13条 学会参加費は、都道府県看護協会会員・日本精神科看護協会会員:3,000円、非会員:5,000円、看護学生1,000円とする。

※開催状況により変更することがある。

第5章 規則の変更

(規則の変更)

第14条 この規則の変更は、管理運営会議で決議する。

第6章 雑則

第15条 この規則に定めるもののほか、本学会の運営に必要な事項は、別に定める。

附則

1. この規則は、令和5年4月11日から施行する。
2. この規則は、令和6年1月30日から施行する。